

# こんにちは 日本共産党議員団です！

2023年7月号(令和5年6月定例会特集)  
【発行】日本共産党議員団 ☎65-4050

小西、伊田、小杉議員

＜令和5年度6月定例会＞

長引く物価高騰、原油高の中で、

## 税金の使い方を 市民生活最優先に切り換えるべき！

令和5年度6月定例会が7月3日に閉会しました。令和5年度一般会計補正予算(第2号)をはじめ全20議案を審議し可決しました。新型コロナウイルス感染症が5月から第5類に移行し、インフルエンザと同じ扱いとなりましたが、第9波の流行も心配されます。物価、原油高騰も続いており、党議員団は、このような時だからこそ、税金の使い方を「市民生活最優先に切り換えるべき」との立場から、市民目線で論戦しました。



### 全20議案のうち 2議案に反対

党議員団は、物価、原油高で苦しむ市民目線で議案を審議しました。

#### 党議員団の議案・条例の審査基準

1. 市民生活への負担が増加する事業内容になっていないか。
2. 開発や大型事業優先で福祉、教育等が後回しになっていないか。
3. 地場産業や地元の中小企業、商店が活気づく事業になっているか。
4. 環境破壊や地域の環境に負荷を与える計画になっていないか。
5. 市民の権利が保障され、拡充される条例等になっているか。

### ＜反対した 2議案＞

- ◆第37号議案「令和5年度舞鶴市一般会計補正予算(第3号)」
- ◆第38号議案「舞鶴市市税条例等の一部を改正する条例制定について」

### 反対した議案についての主な理由

第37号議案は、3月定例会ではゼロベースで見直すとして一旦ストップした「赤れんが周辺等まちづくり事業費」5億1191万円が組み込まれた補正予算(第3号)となりました。党議員団は、従前から市民生活を優先すべきとして、観光中心の大型事業には反対してきました。長引く物価・原油高の中でもあり、税金のつかい方を市民生活優先に切り換えるべきとして反対しました。「子育て支援医療助成」は、府下で最も遅れている事業です。最速で令和6年1月の事業開始とされましたが、9月からの本格実施はできたはずで、更なる拡充を求めます。

第38号議案は、「復興特別住民税」が看板を架け替えて「森林環境税」として市民一人千円徴収するものです。CO2排出企業に応分の負担を求め、国の林業予算の拡充こそ必要で、市民負担が続くことになるので条例改正に反対しました。

### 副市長人事に賛成しましたが、反対多数で否決

副市長不在の状況が続いています。7月3日の本会議最終日に市長から副市長の提案がありました。地方自治法第161条、162条、市の副市長定数条例に照らしても違反する内容は認められませんでした。本市は、ウイズコロナの時代を迎え、様々な課題を抱えています。このような状況から考えても、副市長不在の状況が続くことは、市民的にも社会的にも望ましい状況ではないと考えます。早急に市の体制を整えて市政課題に向き合う必要があると考えて、副市長の提案に同意しました。

しかし、賛成8名、反対16名の賛成少数で、副市長の提案は否決されました。今後も副市長不在の状況が続くことになります。

### 市長、教育長の給与カットは賛成！

3月議会から継続審議となっていた市長の給与3割カットと退職金ゼロ、教育長の給与1割カットの議案については、党議員団は両方とも賛成しました。現市長、教育長の任期中に限った自主減額であり、反対する理由がありません。物価高騰の中で市民の理解も得られると考えます。7月3日の本会議では、市長給与の3割カット・退職金ゼロ条例改正案は全会一致で可決されましたが、教育長の給与1割カットの議案は、賛成少数で否決となりました。

※6月2日に可決された(補正第2号)

#### 臨時特別給付金給付事業費

3億8630万円

・住民税非課税世帯等に  
世帯あたり3万円支給

#### まいづる小売サービスプレミアム

商品券2023発行事業費

5432万円

・13000円分のクーポンを  
1万円で1万5千セット販売

・市内の小売・サービス店飲食店除く

#### ＜第3号補正予算の主な内容＞

●市民との対話集会開催事業費 20万円

●新婚世帯支援事業費 940万円

●新たな自治会支援に係る取組 390万円

●赤れんがパーク周辺整備

5億1191万円

●高浜町と連携した取組 170万円

●原油価格・物価高騰緊急対策事業給付金  
(入院・入所20万円、通所・訪問10万円)

2568万円

●子育て支援医療助成費 366万円

●私立認定こども園移行改修費支援事業費

補助金(聖コゼフ学園、舞鶴聖母幼稚園)

9397・7万円

●保育所等の衛生環境充実 634万円

●ワクチン接種体制確保事業費

6300万円

●ワクチン接種事業費 1億5340万円

●事業者電力価格高騰緊急対策事業給付金

8667万円

●消防施設整備事業費

1億2500万円







## 子育て支援医療費助成の拡充を早急に！ 伊田 悦子 議員・一般質問

### パートナースhip 制度の創設を

【伊田】京都府は、子育て支援医療費助成を9月診療分から拡充する。それに伴い多くの府内自治体では9月診療分から拡充する。本市は来年1月から。なぜ、他の自治体のように9月診療分から拡充できないのか。京丹後市では、市内出身者の大学生まで医療費助成の拡充を図ると聞いている。本市も高校卒業までの助成を視野に入れた検討をすべき。いかがか。



## 老朽原発の「再稼働中止、廃炉」の申し入れを！

### 小西 洋一 議員・一般質問

【小西】現在、国と京都府が、各市町の水道事業の広域化や施設統合を急遽に推し進めていることには、大きな問題がある。本年3月に改訂された「京都府グランドデザイン（京都府水道ビジョン）」に示された水道事業の広域化について、本市としてはどのような方針か、基本的な見解を問う。

### 市民みんまで 図書館整備を

### 制度の創設を

【伊田】5月13日「みんなが考える図書館フォーラム」が開催された。アンケートでは「分館がどうなるのか気になる」「東図書館の分館のスケールが具体的に不安」「東西図書館を残してほしい」など、分館に対する関心の高さがうかがえる。「建設ありき」でなく、市民合意で市民が納得する図書館整備が重要。図書館基本計画では「住民参加型の市政の観点に沿ったプロセスが重要」「市民にしっかり図書館を支えてもらえようようにしたいものだ」と書かれている。そのためにも今後、市民を置き去りにせず進めるべきかが。

### 平和あつての地方自治

【伊田】「平和あつての地方自治」、その上で聞き取り。①平和首長会議は、核廃絶と世界の恒久平和の実現に寄与する目的で市長も加盟。積極的に関わっているのか。②平和行進にメッセージを送るべき。③総務部の地下化、トマホーク配備など「大軍拡やめよ」を国に言うべきだがどうか。

【伊田】「平和あつての地方自治」、その上で聞き取り。①平和首長会議は、核廃絶と世界の恒久平和の実現に寄与する目的で市長も加盟。積極的に関わっているのか。②平和行進にメッセージを送るべき。③総務部の地下化、トマホーク配備など「大軍拡やめよ」を国に言うべきだがどうか。

【伊田】「平和あつての地方自治」、その上で聞き取り。①平和首長会議は、核廃絶と世界の恒久平和の実現に寄与する目的で市長も加盟。積極的に関わっているのか。②平和行進にメッセージを送るべき。③総務部の地下化、トマホーク配備など「大軍拡やめよ」を国に言うべきだがどうか。



## 健康保険証の廃止は中止すべき！ 安心できる地域医療の確保はくらしの必須条件 小杉 悦子 議員・一般質問

### 影響農家への支援を

【小杉】マイナンバーカードの誤交付・誤登録は、制度の土台を揺るがすトラブル。「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」と言うが、高齢者や障害者など、最も弱い立場にある人々を取り残すもの。現行の紙の保険証の廃止で、マイナカードにひも付けとなれば、カード取得が事実上強制となる。来年度の紙の健康保険証の廃止は中止すべきと考えるが、市の受け止めはどうか。

【小杉】万願寺甘とう農家は「ハウスを壊して水張りが必要と聞いた。いったいどうなるのか」「小豆を作っているが、条件が悪いところを持ち主に返すしかない。耕作放棄地が増えるだけ」と農家の声を聞く。水田活用交付金で2027年までに一度もユメの作付けが行われていない農地は交付金の対象水田としない」と、交付金を引きはがすという改悪を聞く。

【小杉】国は、2019年9月、公立病院と公的病院の25%にあたる、全国で424の病院について「再編・統合について特に議論する必要」とまとめた。中丹医療圏は、舞鶴赤十字病院と、市立福知山市民病院大江分院が対象になっている。大江分院では病床の削減が行われた。舞鶴赤十字病院の再編・統合の撤回を国に求めるべきと考えるが、市の見解を問う。

【小杉】「舞鶴市老人クラブ等活動事業費補助金要綱」は、2019年に改正され、老人クラブに対する補助金が半減した。老人クラブ連合会市老連に加入していないと補助の対象外になる要綱の変更は、老人福祉法の本旨から逸脱するものではないか。市の認識を問う。

【小杉】地方自治体は老人福祉を増進する老人クラブその他該当事業を行う者に対して、適当な援助を行わなければならないとされている。連合会加入のクラブ数は減少傾向にあり、市が連合会加入、未加入に関わらず補助金を交付していたことがその要因の一つとしてとらえ、脱会に歯止めをかけるために、令和5年度から変更したもの。

【小杉】今年発生している一連の事案は、マイナカードへの安全性や信頼性が損なわれかねない問題で誠に遺憾。社会における抜本的なデジタル化の必要性が顕著化し、国民の利便性向上等の観点から、デジタル化については極めて重要な課題と認識している。

【小杉】「現行のルール」の厳格化されたものと認識している。畑作物の本格栽培に取り組み生産者に対する、畑地化促進事業の活用を促す等 対応を検討する。

【小杉】「現行のルール」の厳格化されたものと認識している。畑作物の本格栽培に取り組み生産者に対する、畑地化促進事業の活用を促す等 対応を検討する。

【小杉】「現行のルール」の厳格化されたものと認識している。畑作物の本格栽培に取り組み生産者に対する、畑地化促進事業の活用を促す等 対応を検討する。

【小杉】「現行のルール」の厳格化されたものと認識している。畑作物の本格栽培に取り組み生産者に対する、畑地化促進事業の活用を促す等 対応を検討する。



【小西】2月の市長選挙で、市長が公約した「市内全小中学校の学校給食の無償化」については、多くの保護者から期待が寄せられている。どのような課題があるのか、市教委の見解を聞く。

【小西】前市長の10年間で、様々な公共料金の値上げ、177人の正職員を削減する等市民サービスが切り捨てられてきた。もう十分に「身を切る改革」が行われてきたが、これ以上何を切るお考えなのか。

【小西】「徹底した行政改革のために、自らの報酬をカットし範を示した。職員アンケートや若し職員との意見交換等で改革を準備している。

【小西】稼働から60年を超える原発の運転を可能にする「脱炭素電源法」が成立。日本で一番古い原発の高浜原発1、2号機は「ただちに再稼働を中止し廃炉に」と国と関西電力に強く申し入れるべきと考えるがどうか。

【小西】5月18日の地域協議会で「安全を最優先」とする本市の意見を強く申し入れたところ。中止、廃炉をただちに申し入れる考えはない。

【小西】「現行の原発の避難計画は、住民の「被ばく」を前提としており問題。実効ある避難計画への見直しと、「安定ヨウ素剤の事前配布」が必要ではないか。

【小西】「住民避難計画」については、検証見直しを行い、実効性の向上に努めているところ。ヨウ素剤の事前配布については、服用のタイミングが重要であり、現在以上に配布する考えはない。

